

高知土木技士

No.78

(公社) 高知県土木施工管理技士会 [高知市本町4-2-15 建設会館 2F TEL 825-1844]



令和7年度表彰 高知県優良建設工事施工者表彰

工事名 (都) 朝倉駅針木線 防災・安全交付金工事

工事番号 道交都(防災・安全) 第3-2号

工事場所 高知県 高知市 若草町～鶴来巢

工期 令和6年2月29日～令和6年12月12日

現場代理人 伊野上 功 樹 **監理技術者** 中 越 勝 美



新年挨拶

(公社) 高知県土木施工管理技士会

会長 山崎 一志

新年あけましておめでとうございます。皆様にとりまして希望ある、より良い年となりますよう心からご祈念申し上げます。

また、平素より当技士会の運営に格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年は海外におきまして、多くの日本人が活躍された1年でありました。やはり印象的な出来事としては、メジャーリーグでの日本人の活躍。特にドジャーズの大谷・山本・佐々木の3選手の活躍が日本に明るい話題をもたらしました。また、アメリカではトランプ氏が大統領に就任し、「アメリカ・ファースト」を掲げ、関税をめぐる世界経済に大きな影響を与えました。

国内におきましても、自民党総裁選挙で高市早苗氏が新総裁となり、日本初の女性首相に就任しました。ただ、連立少数与党ということもあり、不安定な情勢がつづいております。

また、高知県内建設業界に目を向けますと、長引く資材高騰や後継者・人材不足といった問題が山積みであり、建設業を取り巻く環境としては厳しいものとなっております。魅力ある業界として、新3K（給料が良く、休暇も多く、希望が持てる）への取り組みが喫緊の課題であります。

高知県技士会は、本年も引き続き今までの実績を踏まえつつ資格取得支援並びに技術講習、現場見学会の開催など土木施工管理技術に関する継続学習（CPDS）を実施し、様々なニーズにも対応できるよう、技術者の技術力向上支援に全力を挙げて取り組んでまいりますので、会員の皆様には昨年同様、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、各関係団体のご指導とご支援を賜りますことをお願い申し上げ、本年も会員の皆様のみますますのご発展、ご健勝、ご多幸を心からご祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年挨拶

高知県土木部長 横地 和彦

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人高知県土木施工管理技士会の皆さまにおかれましては、新春を健やかに迎えの事とお喜び申し上げます。

また、日ごろは、本県の土木行政をはじめ県行政の推進にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年末に、経済対策の裏付けとなる国の補正予算が成立しました。この中で、「第1次国土強靱化実施中期計画」の初年度について、令和7年度補正予算として前倒しで措置されることとなったことは、対策を急ぐ本県の施策を後押しするものであり、心強く感じています。これらの予算を最大限に活用し、四国8の字ネットワークや浦戸湾の三重防護など、防災・減災に資するインフラ整備に全力で取り組んでまいります。

一方、近年、建設業界では、従事される方の高齢化が進む中、次世代を担う若手入職者の確保や女性活躍の場の拡大、また、日々進化するデジタル技術への対応などの様々な取組を充実・強化していくことが求められております。

こうした状況に対応するため、本県では「建設業活性化プラン」を策定し、特に「人材確保策の強化」と建設現場のデジタル化による「生産性向上の推進」に注力し、関係団体の皆さまとともに取り組んでまいりました。令和8年度は、ICTの更なる普及・深化を目指し、ICT活用工事の未経験事業者へのサポートや、より先進的な技術を導入した工事の試行といった施策を展開してまいります。これにより、生産性向上の裾野を広げるとともに、デジタル化が進む「カッコいい建設業」の魅力発信を強化し、若者や女性の入職の増加につなげてまいりたいと考えております。

これらの取り組みを着実に進めるためには、日ごろから技術力を研鑽されている貴会の皆さまのご支援とご協力が不可欠と考えていますので、よろしくお願い申し上げます。

結びに、貴会のますますのご発展と、会員の皆さま方にとって希望ある良き一年になりますよう祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

★ 技術コーナー ★



四万十川流域治水プロジェクト

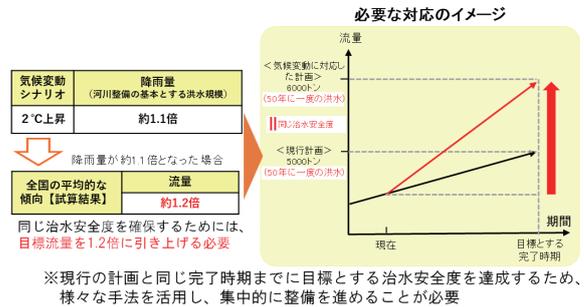
～清流四万十川の未来へ繋ぐ流域治水対策～

国土交通省 四国地方整備局 中村河川国道事務所長
柳川 克一

1. はじめに

近年、短時間強雨の発生や台風の大型化等により、毎年のように全国各地で浸水被害が発生するなど、水災害の頻発化・激甚化が進んでおり、このような河川整備を超えるスピードで進行する気候変動に対応するため、気候変動適応型の治水対策への転換が求められています。

そのため、河川管理者が主体となって行う河川整備等の事前防災対策を加速化させることに加え、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う『流域治水』という取り組みが全国各地で進められています。



2. 四万十川流域治水プロジェクトの概要

四万十川においては、令和3年3月30日に『四万十川流域治水プロジェクト』を、令和6年3月29日には『四万十川流域治水プロジェクト2.0』を公表し、気候変動を考慮した戦後最大洪水が流下する場合においても、現行の治水安全度を確保し、洪水による災害の発生防止または軽減を図る取り組みを進めております。

四万十川流域治水プロジェクト【位置図】

～清流四万十川の未来へ繋ぐ流域治水対策～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したこと等を踏まえ、渡川水系においても、以下の取り組みを一層推進していくものとし、更に国管理区間においては、気候変動(2°C上昇)を考慮した戦後最大である洪水(四万十川：昭和38年8月洪水、後川：平成4年8月洪水、中筋川：昭和47年7月洪水)が流下する場合においても、現行の治水安全度を確保し、洪水による災害の発生防止又は軽減を図る。

○そのため、河道掘削等、遊水地等の新たな洪水調節機能の確保により洪水を安全に流下させるとともに、河道掘削にあたっては動物植物に配慮した掘削形状とするなど、多自然川づくりを推進する。

○また、計画規模を超える洪水が発生した場合でも、迅速かつ適切な情報収集・提供体制を構築し、ホットラインを含めた確実な避難行動に資する情報発信などの取り組みを実施し「逃げ遅れゼロ」を目指す。

※流域治水プロジェクト2.0で追加した対策については今後計画変更の過程でより具体的な対策内容を検討する。

3. これまでに行った治水対策の概要

(1) 相ノ沢川総合内水対策事業

相ノ沢（あいのさわ）川は、渡川水系中筋川支川で、流域面積6.16km²、流路延長2.27kmの1級河川です。

平成26年6月梅雨前線豪雨では、中筋川沿川の雨量観測所で24時間最大雨量が観測史上最大の468mmを記録し、相ノ沢川およびその支川である楠島川沿川で浸水面積約105ha、家屋浸水96戸（床上71戸、床下25戸）となる近年で最も大きな被害が発生し、浸水被害軽減に向けた対策が急務となりました。

この豪雨被害を受け、平成27年6月に国土交通省、高知県、四万十市が「相ノ沢川総合内水対策協議会」を設立、三者による計画検討、協議を重ね、平成28年8月「相ノ沢川総合内水対策計画」を策定し、ハード、ソフト両面から対策を実施しました。

主なハード対策として、国土交通省が中筋川合流箇所にて排水樋門（幅6m、高さ3mの函渠2連、延長32.2m）、高知県が放水路（底幅10.5m、延長146.7m）、四万十市が排水機場（排水能力3m³/s）を担いました。

工事実施中においても定期的に連絡調整会議を実施し、工程等の調整のほか、完成後の管理に向けた協議を実施する等、連携を取りつつ工事を進捗し、令和5年6月に竣工しました。



図 平成26年6月梅雨前線豪雨浸水区域



図 国道56号冠水状況

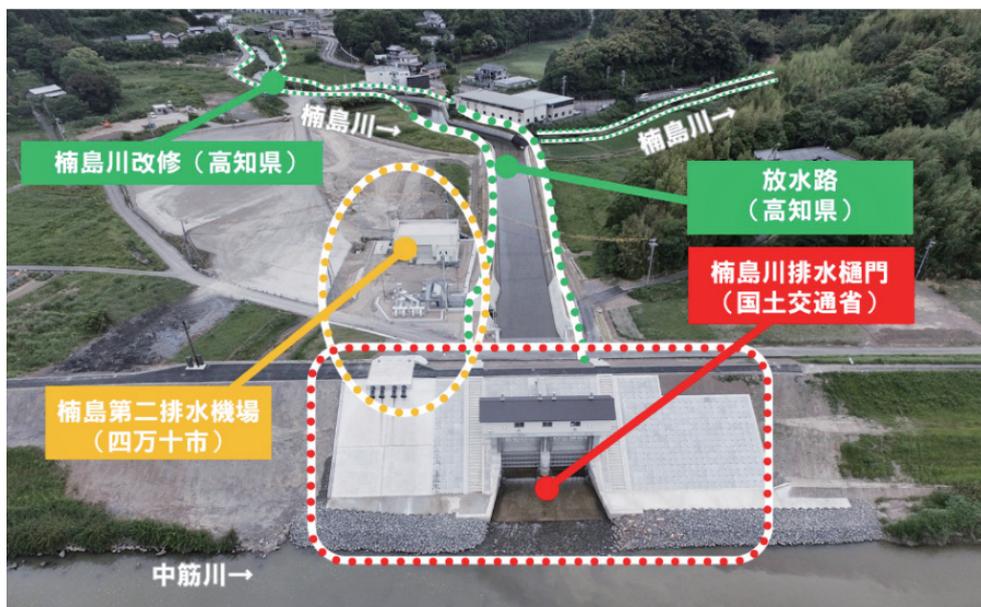


図 三者機関によるハード対策

また、ソフト対策として、四万十市は楠島地区における貯留浸透阻害行為を規制するための『四万十市水害に強い土地利用条例』を制定し、令和6年7月1日から施行しています。

当該施設により、洪水時には楠島川の流量の一部について放水路を使って速やかに中筋川へ直接流すとともに、排水樋門閉鎖時には排水機場からの排水により、周辺の内水被害を軽減します。

令和6年6月2日に発生した台風2号では、中筋川流域に約370mmの降雨を観測しましたが、三者の施設の運用及び上流ダム群の洪水調節により、国道56号道路冠水による通行止めの回避、家屋浸水ゼロ、浸水面積を約6割低減する効果を発揮することができました。

令和5年6月11日(日)に相ノ沢川総合内水対策事業の竣工式を、国会議員をはじめ、県・市議会議員、事業関係者など約70名の皆様にご参加いただき盛大に開催しました。



図 相ノ沢川総合内水対策事業竣工式

(2) 初崎堤防事業

初崎(はつさき)地区は、四万十川右岸河口付近に位置する無堤箇所でした。

平成17年9月の台風14号では、高潮により浸水面積4.4ha、床下浸水家屋7戸の被害が発生しています。また、100年に1回程度発生が予測される洪水や数十年から百数十年に1回到達する津波によって浸水被害が予想されている地区になります。

本事業地内には、地元住民に親しまれ推定樹齢200年のタブノキを擁するタブノキ群落があり、学識経験者から重要な文化的景観として極力保全すべきであるとの意見をいただき、タブノキ群落の川側に堤防を配置しタブノキに配慮した計画としています。合わせて同地区の社会基盤である初崎港、県道343号の機能を維持すること等を踏まえ、総延長約610mで土堤部(堤天幅7m)と特殊堤部(堤天幅3m)からなる堤防計画です。

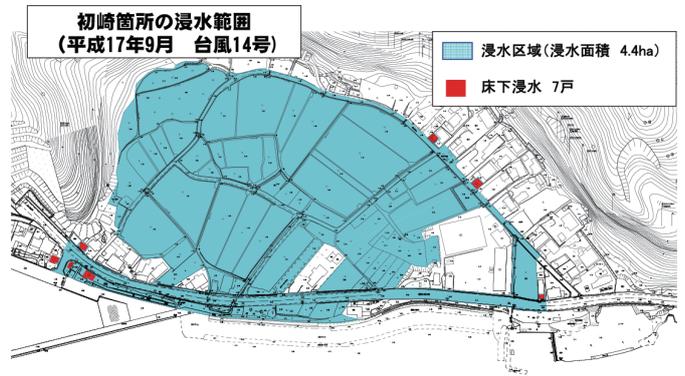


図 平成17年9月台風14号浸水区域



図 景観への配慮(タブノキ群落の保全)

本事業は、平成28年度より事業着手し、地域の皆様にご協力いただき、令和7年3月に竣工しました。令和7年6月には、国会議員をはじめ、県・市議会議員、地元関係者など約70名の皆様に参加いただき、盛大に竣工式を開催しました。

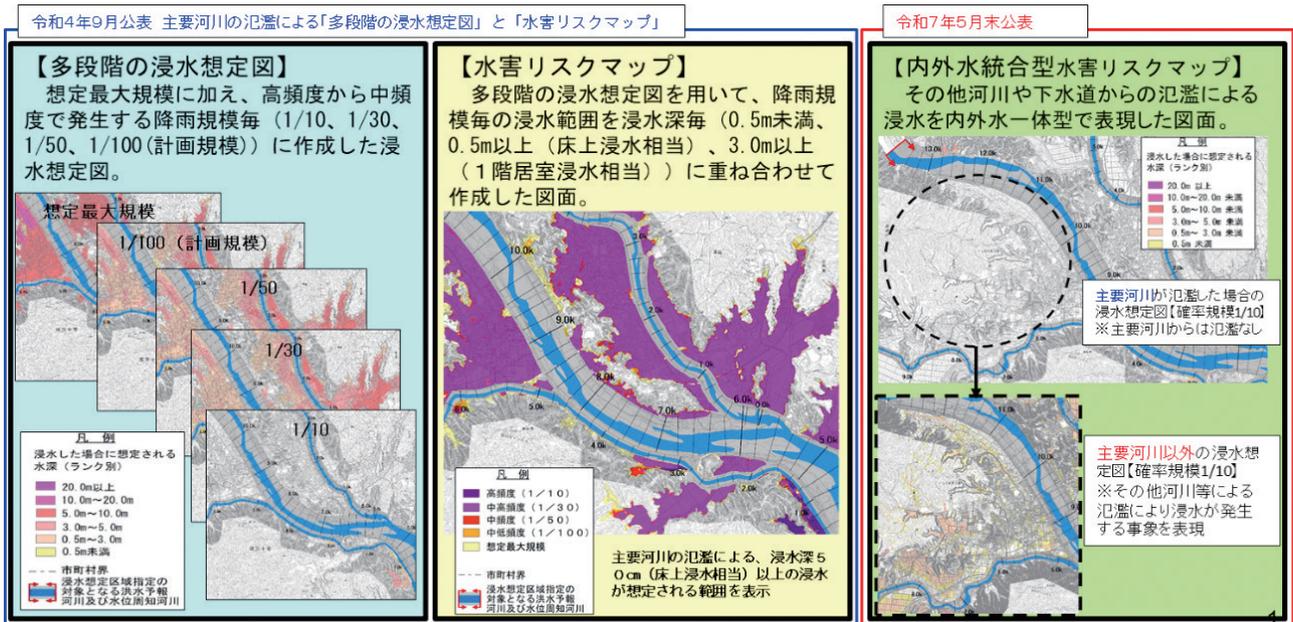


図 初崎堤防全景 (完成)

(3) 四国初 内外水統合型のリスクマップの公表

国土交通省では、流域治水の取り組みを推進するため、土地利用や住まい方の工夫、水災害リスクを踏まえた防災まちづくりの検討及び企業の立地選択に活用できるよう、比較的発生頻度が高い降雨規模も含めた複数の降雨規模毎に作成した浸水想定区域図『多段階の浸水想定図』と、それらを重ね合わせて、浸水範囲と浸水頻度の関係を図示した『水害リスクマップ』を作成しています。

中村河川国道事務所では、上記に加えて、主要河川以外の支川や内水氾濫による浸水リスクを示す内外水統合型のリスクマップを四国で初めて作成し、令和7年5月に公表しています。当事務所のホームページで閲覧が出来ますので、是非ご覧いただければと思います。



4. おわりに

流域治水プロジェクトは、流域のあらゆる関係者が他人事ではなく自分事として捉え、河川への流出抑制や貯留機能の保全及び拡大など、流域一帯で総合的かつ多層的な浸水被害対策を講じる必要があります。同時に、四万十川は豊かな自然環境・河川環境に恵まれ、重要な水産魚や絶滅危惧種等も多数生息・生育していることから、治水面だけではなく環境面も含めた取り組みを今後も進めていきたいと考えております。

★ 会員の広場コーナー ★



都市計画道路朝倉駅針木線 防災・安全交付金工事での取り組み ～国立高知病院新出入口完成までの歩み～

施工：ミタニ建設工業株式会社

監理技術者 中越 勝美

1. はじめに

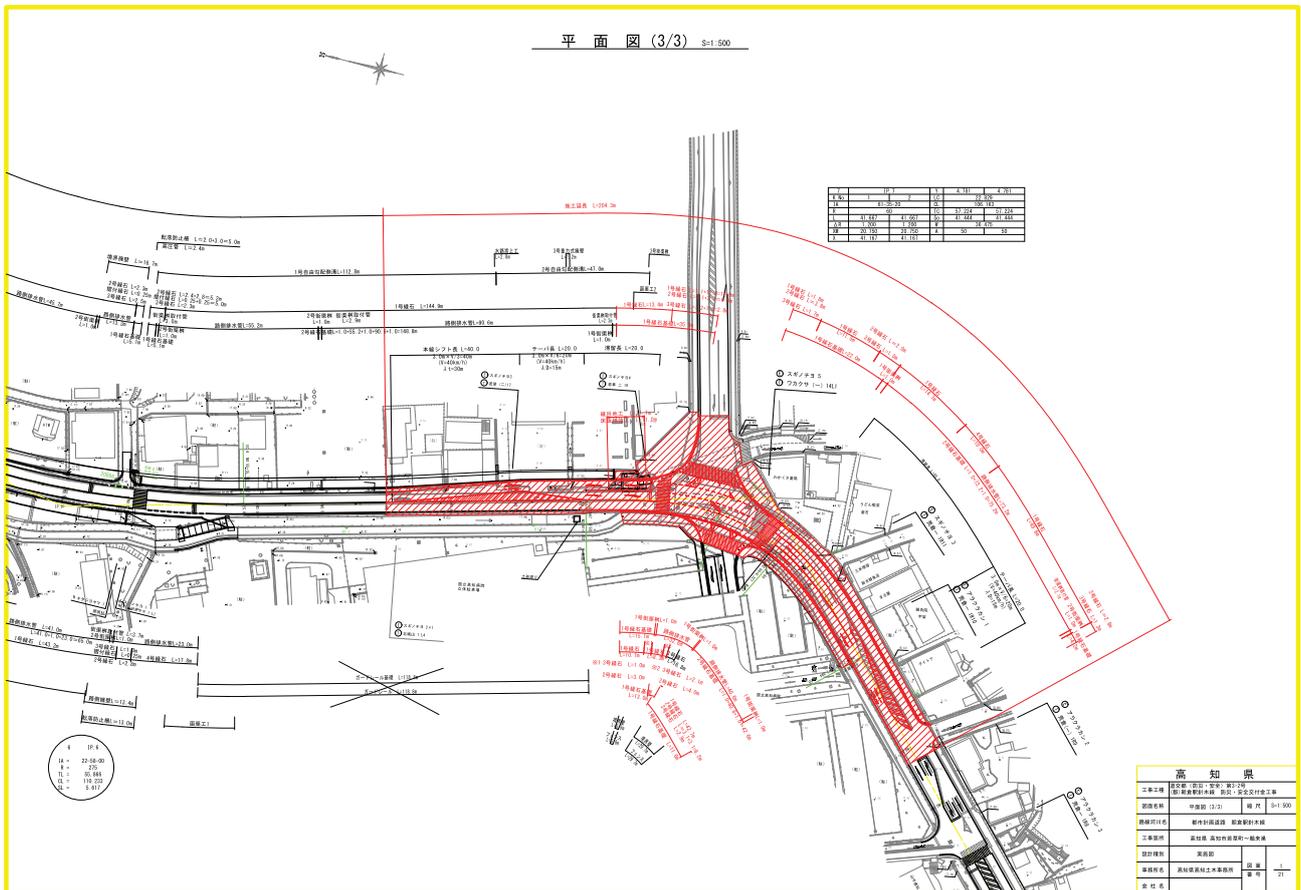
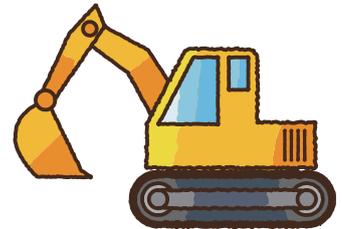
当該現場は高知市西部に位置し、隣接する土佐市やいの町との広域的なネットワークを形成する都市計画道路朝倉駅針木線の交差点改良を含む舗装工事である。

2. 工事概要

工事名：(都) 朝倉駅針木線 防災・安全交付金工事

主な工事内容

- ・ 施工延長 L=204m
- ・ 縁石工 L=250m
- ・ 舗装工 A=2633m²
- ・ 床版補強工 L=11m
- ・ 排水構造物工 L=211m



3. 施工特性について

- (1) 当該現場は人口集中地区（DID）に位置し、通過・発生交通により終日交通量が多く混雑し、周辺には小学校から大学まで教育施設もあることから、朝夕の時間帯において歩行者や自転車の通行量が多い。
また、現場周辺は多くの店舗や国立高知病院もあり、沿道利用も活発である。特に国立高知病院への進入車両が慢性的な交通渋滞を発生させており、道路利用者及び地域住民から早期の交差点改良が望まれていた。よって本工事においては工期短縮が課題となった。
- (2) 当該現場は夜間の作業が大半を占め、夜間作業時における騒音及び振動の抑制・低減が課題となった。
- (3) 舗装工事の仕上げでもある表層工において、排水機能を確保しつつ、アスファルト舗装の長寿命化を図ることが課題となった。

4. 具体的な課題に対する対策や取組み

- (1) 工程に影響を及ぼす要因（騒音・振動対策、近接他工事による影響、支障物件の移設）を事前に把握し、検討フローにより合理的な対応策を策定し、次項目を実施した。
 - ・最初に発注者、関連施工業者、上下水道管理者、都市ガス管理者、警察に弊社が作成した工程を提示しその工程を基に各社の施工時期を決定した。
 - ・工事の進捗とともに新たな施工業者も入ってくるので、定期的に工程会議を実施した。

効果について

定期的な打合せを実施することにより、各社の作業内容や進捗状況を把握、調整することにより手待ち・手戻りが無く円滑な工事の連携と進捗が図れ、早期の交差点供用に繋がった。



工程会議実施状況



現地打合せ状況

- (2) 縁石工（縁石基礎）の施工は交差点内に集中しており、現場打ちコンクリートによる施工は、型枠組立から脱型・埋戻しまで複雑な多工程を経る必要があります。
さらに、現場打ちで施工する場合、打設箇所周辺への安全施設の設置が必須となるほか、横断歩道部では仮設通路の設置も必要となり、時間的、費用的にも大幅な負担増となる。
・上記理由により、現場打コンクリートからプレキャスト製品に変更し施工した。



縁石基礎設置状況



昼間交通開放状況

効果について

プレキャスト製品に変更したことにより、1日の施工で取壊しから仮設舗装までの全工程（掘削、基面整正、製品設置、埋戻し）を完了できるようになりました。

これにより、安全施設の設置箇所も最小限に抑制し、昼間の歩行者や自転車の安全確保に貢献しました。結果として従来30日を要した日数を3日へと大幅に短縮することができました。

(3) 夜間作業では、21時から翌朝6時までの片側交互通行の交通規制を実施する必要性がありました。限られた時間内での作業時間を短縮するための工夫が必要であった。

- ・本線部を3次元設計データ化し、道路土工・排水構造物工・舗装工において自動追尾型TS・杭ナビを使用した出来形管理を実施した。



測量実施状況



タブレットを用いて位置確認

効果について

今回の市街地における夜間作業という条件下で、測量時間を従来比20%短縮することに成功しました。ただし、片側交互通行規制中は車両の通行があるため、測量機械の据付場所には十分に配慮しました。

(4) 夜間施工における騒音及び振動の抑制・低減が課題でした。この現場では大半の作業が夜間に行われるため、常時使用する照明設備についても工夫をする必要性がありました。

- ・工事用投光器への電力供給を発動発電機によるものから蓄電池（リチウムイオンバッテリー）タイプに変更した。
- ・斫り作業における騒音源には、遮音・吸音パネル構造の簡易型防音ボックス（NETIS）で周囲を囲んだ。



蓄電池タイプの照明（LED）



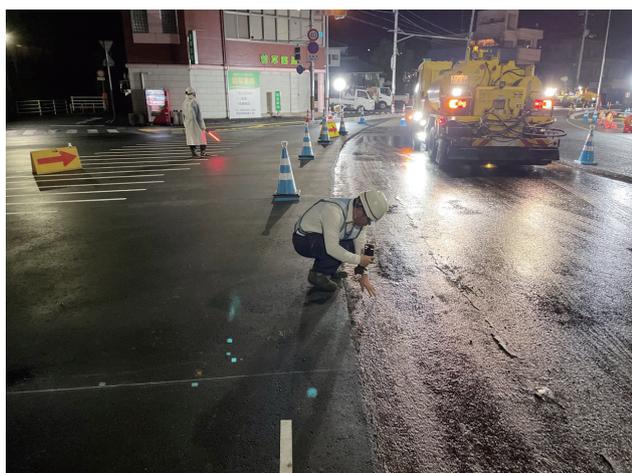
現場事務所にて充電

効果について

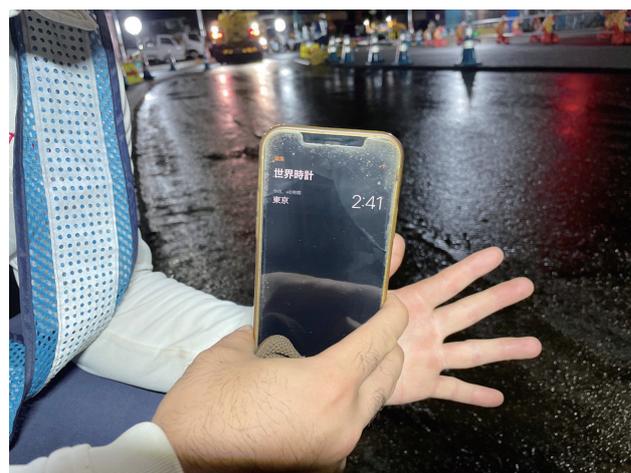
事前に現場周辺の住環境を踏査し、騒音や振動の大きさやこれら発生源からの距離・方向を詳細に把握し、細やかな抑制対策を講ずることにより沿道住民、医療施設利用者及び道路利用者からの苦情はなかった。

工事中用投光器については電力供給を蓄電池方式にすることにより、エンジン式の発動発電機から発生する騒音・振動・排気ガスをゼロとし、現場でのCO2排出量の大幅な削減に寄与した。

- (5) 当該現場は交差点内を含み、交通量が多く、歩行者や自転車の通行も頻繁な道路です。そのため、ライフサイクルコストの低減という観点からも、舗装（表層）の長寿命化を図るための工夫が必要であった。
- ・表層と基層の接着力を従来の物より約63%向上した乳剤（スーパータックゾール）を使用した。



乳剤散布直後に付着確認



乳剤の付着なし確認

効果について

乳剤の分解が早いので、通常のアスファルト乳剤に比べると大幅な養生時間の短縮となり、またPKR-T（ゴム入り乳剤）の品質規格を上回る接着性があるので表層の長寿命化を図ることができた。

工程においても散布後数分で養生が完了することから、表層工の施工時間の大幅な短縮も図ることができた。

最後に

個人的な話になりますが、この路線（工区）を3期連続で担当させていただき、中でも1番苦労した現場となりました。受注当初は埋設物・支障物件の調査、工程管理について、入念に何度も打合せを行い手戻り・抜かりの無い施工をすることができました。

工事終盤は雨天による施工中止が続くなど予期せぬ状況もありました。さらに、夜間作業が大半を占め、近接する国立高知病院（夜間の救急搬送対応も含む）や店舗のために出入口の確保といった制約がある中での施工でしたが、無事故で完成することができました。

この場を借りて、工事を支えてくださった発注者、ライフライン管理者の皆様、沿線住民の皆様の温かいご指導とご協力に、深く感謝申し上げます。

KDJ (高知土木女子) のWA

大旺新洋(株) 福本 笑奈

私は現場技術員として施工管理の業務に携わっています。この業界に入った理由は特別深いものではありません。学生時代に学んでいたことの延長線上で選んだことと、子どもの頃から体を動かすのが好きだったため、デスクワークよりも体を動かしながら働ける仕事が自分に合っていると思ったからです。そんな単純な理由で始めたこの仕事ですが、もうすぐ丸4年が経とうとしています。



最近、ふと感じることがあります。それは「小さいころの自分が、今の自分を見たらどう思うのだろうか?」と。内向的で人前に立つことや自ら発言することが苦手だった子ども時代。あの頃の自分からすれば、土木の現場で関係者の前に立ち、説明したり、指示を出している今の私は想像すらできなかったはずです。小さい頃の私を知る建築関係の仕事をしている叔父からも「あんたがこの仕事を続けると思わなかった。」と驚かれたこともあります。そんな私が今、楽しく仕事ができているのは周りの環境に恵まれていたからだと思えます。最初はわからないことだらけで、言われるがままに業務を進めるだけで精一杯でした。しかし、先輩方や職人さんたちが根気強く教えてくださり、困っていると声を掛けてくれたおかげで、少しずつ仕事の流れがつかめるようになりました。できることが増えていく中で、『自分が先頭に立って仕事したい』という前向きな気持ちが生まれ、それが今の“仕事が楽しい”に繋がっています。

現場に配属されて数ヶ月が経った頃、印象に残る出来事がありました。それは、入社当初は“どうせ、まだわからんだろう”と思われていたのか、ほとんど何も聞いてこなかった職人さんが、ある日私に作業の確認をしに来てくれたことです。ほんの小さなことかもしれませんが、“私にも聞いてくれるようになったんだ”と思うと、とても嬉しくなったことを覚えています。それからは、作業の確認や段取りについて声を掛けてもらうことが増え、任せてもらえる仕事も少しずつ増えていきました。自分の成長を実感すると同時に、人との信頼は日々の小さな積み重ねだと気づかされた瞬間でもありました。

最近では、ICT業務を任せいただく機会があり、3次元設計データの作成やTLS測量など、これまで触れてこなかった分野にも挑戦しています。最初は戸惑うこともありましたが、自分が作成したデータが現場で活用される様子を見ると、大きなやりがいを感じました。新しい技術に触れることで、仕事の幅が広がっていることも実感します。

休日は、基本的に家でのんびりと過ごしています。ご飯を食べてYouTubeを見て寝る... そんな一日もよくあります(笑) 気分転換をしたくなると、車で遠出すること



お菓子作りもよくします!



もあります。運転することが好きなので、香川までうどんを食べに一人でドライブすることもあります。行き当たりばったりのドライブの時間が、仕事のリフレッシュにもつながっています。

次回は、国友商事(株) 國友 真央 様、よろしくお願いします。

★ 委員会コーナー ★

このコーナーは、技士会の4委員会（総務、技術、研修、広報の各委員会）の委員の皆様方に、持ち回りで各委員会活動に関するものに限らず、自由なテーマでお願いしています。今回は、技術委員会です。

私の小中学時代に育った（1970年代頃） 仁淀川中流域から学んだこと

（株）ロイヤルコンサルタント 調査役 岡 林 福 好

1. はじめに

私の育ったところは、竜とそばかすの姫にも登場する浅尾の沈下橋のある越知町浅尾と言う地区で生まれ、中学校まで過ごしました。

浅尾地区は、目の前に仁淀川、背後は山林と自然豊かなところ。特に沈下橋より上流宮地地区までの右岸約4km（写真2：赤線）は、道路、擁壁等の人工構造物が全くないところで、NHK大河ドラマの撮影にも使われこともあります。

こうした自然豊かななか、春には山菜取り、夏には川漁、秋には果実・木の実、冬には山獺などたくさん自然から学んだなかで、記憶に一番多く残っている川とのかかわりについて紹介します。



写真1：浅尾沈下橋



写真2

2. 川遊びと川漁

親が川漁師をしていたこともあり、夏には幼い頃から毎日川に行き川遊びや魚とり、川漁の手伝いなど（表1）していました。

当時は、アユも沢山おり、夜に瀬でライトをつけると、石によりかかり動かないアユを手づかみすることもできました。

表1：私の記憶にある漁法です。間違っていることもあるのでご容赦ください。

	漁法	概要	備考
アユなどの魚を捕る	火振り	夜、川に船で横断的に縦網を張り、火（仁淀では、カーバイドを使ったガスを使用）でアユを網に追い込んでとらえる漁です	仁淀川で使用していた縦網は、四万十川などで使っているものとは違い、上から下まで袋になったもので、一度かかったら抜けられないようになっています（写真3参照）
	投げ網	河原又は、船から投げ網を円弧を描くように投げ、網内の魚を石や竿で追いこみとらえる漁です	長いものになると20m近いものもあり、投げるにはかなりの熟練が必要です
	投網	河原又は、船から投網を円を描くように投げ、網を引き揚げることによって円を徐々に小さくしていきその中の魚をとらえる漁です	投げ網とは違い筒状の網をきれいな円を広げたように投げることにより、魚を包み込むものであり、これもかなりの熟練が必要です
	シャクリ	錘の上に針をつけた物で、船や橋の上から魚をひっかけてとらえるものです	よく遊びでやっていたもので、日々川に行って泳いだり潜ったりするなかでやっていたことです
	チャン	カナツキとは違って、おもちゃの銃のような形をしたもので、川に潜って魚を突いてとらえるものです	



写真3：縦網

表1：私の記憶にある漁法です。間違っていることもあるのでご容赦ください。

	漁法	概要	備考
ウナギを捕る	はえ縄	細いロープに多くの枝針をつけ、その針に餌となる魚の切身やミミズをつけて、船や岸から川に仕掛けてウナギをとらえる漁です	よく夕方、瀬で餌となる魚をカガシラ（疑似餌）で釣り、それをはえ縄につけて、河原から対岸の岩場めがけて投げ入れ、朝引き上げに行ったものです
	ひご	竹などのひごの先に糸のついた針をつけ、その針に餌を刺して岩場の間に差し込みウナギをとらえるものです	これも川遊びのなかでやったもので、かかって引き抜くタイミングが難しく、よく岩に潜り込まれ捕れなくなったものです
	筒	川のなかに木等で出来た筒（入口に入ったら出られないように弁がついたもの）を仕掛けてとらえるものです	新品の筒を使うと入りが悪いので、田んぼの泥の中に何週間か置いてなじませてから使ったものです
カニを捕る	もじ	産卵のため川を下ってくる蟹に川をせいでもじを仕掛けてとらえるものです	「もじ」は、金網や竹を使って作った仕掛けを使用したものです
	かご	カニかごの中に餌を入れたものを川に仕掛けてとらえるものです	カニかごに使う餌は、魚（カツオなど）の頭などを使っていましたが、蟹はカボチャも好んで食べていた記憶があります
出水時の魚	玉網	出水で川が濁り岸によってきている魚を大きな玉網ですくいとらえるものです	洪水時の濁りや魚などの習性をうまく使った漁法です
	蟹釣り	濁っていることを利用し、餌に網を巻いた物を川に沈め蟹が抱きついたところをゆっくりと引き上げとらえるものです	

3. 洪水とのかかわり（沈下橋ができたわけ）

当時の浅尾地区は、町に行く道路や学校・保育園など対岸に渡らなければなかったため、渡し船を使っていました。そのため、年に何回も洪水で、学校に行けなくなったり、途中で帰されたりしたことを覚えています。また、畑もよく浸水（写真4：青線が洪水時の水位）していました。

そのなかで最も記憶に残っていることが、保育園からの帰りのことです。雨が降り続き川が増水していました。私は渡し船で帰ることができましたが、その次の渡し船が流されたのを目で見て衝撃を受けました。幸いなことに、たまたま私の母が家の船を川に見に行っており、流される船を見かけてロープを投げ、河岸に引き寄せて助けたことを後から聞きました。

このことがきっかけとなり、沈下橋がかけられることになったと記憶しています。今では、抜水橋もかけられて洪水の影響もありません。



写真4：浅尾集落

4. 今に生かしていること

アユなどを捕るためには、川の地形（川底の状況）と役割や水の流れ、そこに住む生物の特性を知ったうえで行うものであり、そういったことを自然から学び、自然に身に付いています。

私が長年、設計施工に携わるなかで、様々な生態系を考慮した多自然川づくり、各種事業計画などに役立っていることや、洪水時の河道や危機管理に関しても少なからず実感できています。

また、川や山で培ったことは、今の趣味の日曜大工や園芸などにも役立っています。

5. さいごに

過疎化が進み滅びゆく集落が多くありますが、今話題になっているクマ問題など、自然の生態系の崩壊や気候変動に伴う洪水の激甚化・頻発化が進んでいるなか、変わりゆく田舎にも目を向けてはいかがでしょうか。

写真で見える技士会活動状況

【8月27・28日】1級土木2次検定受験講習会



【9月9・10・11日】2級土木受験講習会



【11月10日】四国4県統一テーマ技術講習



【11月25日】JCMセミナー



【9月24日】監理技術者講習



【12月3日】監理技術者講習



令和7年度土木施工管理技術講習会 (Bプログラム)



【9月30日】高知会場



【10月2日】幡多会場

KDJ (高知土木女子) 活動



【10月19日】建設フェスタ2025
(大旺新洋おまち多目的広場)



【12月9日】ミーティング

事務局より

令和7年度4月～11月末まで（公社）高知県土木施工管理技士会の状況について

(1) 組織（会員）の現状

①高知県土木施工管理技士会員の状況報告

	7.3.31	7.11.30	増減
正会員（個人）	2,241名	2,260名	19名
賛助会員（個人）	331名	357名	26名
賛助会員（団体）企業数	272社	271社	-1社
賛助会員（団体）口数	448口	447口	-1口

(2) 技術力の維持・向上に関する事業

①土木施工管理技術検定試験受験準備講習会の実施

実施日	内容	受講者数（前年）	会場
6月10日（火）～12日（木）	1級1次（前半）	33（23）	高知県建設会館 4階
6月17日（火）～19日（木）	1級1次（後半）	33（23）	高知県建設会館 4階
8月27日（水）～28日（木）	1級2次	17（17）	高知県建設会館 4階
9月9日（火）～11日（木）	2級（1次・2次）	36（33）	高知県建設会館 4階

②土木施工管理技術講習会の実施（土木施工管理）

実施日	講習名	受講者数（前年）	会場
6月24日（火）	土木施工管理技術講習会	118（117）	高知城ホール
6月26日（木）	土木施工管理技術講習会	100（97）	大方ふるさと総合センター
7月2日（水）	土木施工管理技術講習会	85（82）	田野町ふれあいセンター
7月29日（火）	JCMセミナー	53（29）	高知県建設会館 4F
9月30日（火）	土木施工管理技術講習会	106（101）	高知城ホール
10月2日（木）	土木施工管理技術講習会	86（51）	大方ふるさと総合センター
11月10日（月）	四国4県統一セミナー	51（53）	高知県建設会館 4F
11月25日（火）	JCMセミナー	56（34）	高知県建設会館 4F

③監理技術者講習【法定講習】の実施

実施日	受講者数(前年)	会場
4月2日(水)	72(69)	高知県建設会館 4F
7月23日(水)	70(71)	高知県建設会館 4F
9月24日(水)	43(35)	高知県建設会館 4F
12月3日(水)	15(32)	高知県建設会館 4F
2月5日(木)	- (59)	高知県建設会館 4F

④その他

・どほく・防災出前授業

実施日	参加者数	対象学校
5月28日(水)	21名(3年生)	いの南中学校
6月16日(月)	80名(1年生)	安芸市立安芸中学校

・KDJ(高知土木女子)活動

実施日	参加者数	内容
5月9日(金)	23名	ランチミーティング
7月24日(木)	19名	高岡郡越知町 現場視察
8月5日(火)	17名	高知市五台山 現場視察
10月8日(水)	3名	委員長・副委員長ミーティング
10月19日(日)	18名	高知建設フェスタ ブース出展
12月9日(火)	12名	ランチミーティング

令和8年度 1, 2級土木施工管理技術検定試験と講習会のご案内

～土木施工管理技士を目指して～

(一財)全国建設研修センターが建設業法に基づいて実施します「検定試験」、また、(公社)高知県土木施工管理技士会が行います「受験準備講習会」を次のとおり予定しています。

なお、申込用紙(願書)の販売方法、講習会への受講申し込み方法については、決定次第会員各位の所属会社あてにご案内文書をメール送信いたします。(ホームページでも公開いたします<http://www.kochigisi.or.jp>)

～ 実施予定 ～

●令和8年度 1, 2級土木施工管理技術検定 日程表

	1級土木		2級土木 1次・2次検定 (後期試験)		2級土木 1次検定(前期試験)	
	申込用紙の販売	令和8年3月6日(金)～4月6日(月)		令和8年6月23日(火)～7月22日(水)		インターネット申込
申込用紙 販売金額	1部1000円		1部1000円			
申込受付期間	令和8年3月23日(月)～4月6日(月)		令和8年7月8日(水)～7月22日(水)		令和8年3月4日(水)～3月18日(水)	
試験日	(1次)	令和8年7月5日(日)	(1次・2次、 2次)	令和8年10月25日(日)	(1次)	令和8年6月7日(日)
	(2次)	令和8年10月4日(日)			(2次)	-
合格発表	(1次)	令和8年8月13日(木)	(1次)	令和8年12月2日(水)	(1次)	令和8年7月7日(火)
	(2次)	令和9年1月8日(金)	(2次)	令和9年2月3日(水)	(2次)	-
近隣試験会場	高松		高知		高松	

※2級土木 1次検定のための申込用紙販売につきましては、当技士会では取り扱いしておりません。

(一財)全国建設研修センター(042-300-6860) までお問合せ願います。

●令和8年度 1, 2級土木施工管理技術検定 受験準備講習会日程表

	1級土木(1次)		1級土木(2次)		2級土木 (1次・2次)	
	実施日	(前半) 令和8年6月9日(火)～6月11日(木)	(後半) 令和8年6月16日(火)～6月18日(木)	令和8年8月26日(水)～8月27日(木)		令和8年9月8日(火)～9月10日(木)
受講料	(会員)	55,000	(会員)	28,000	(会員)	40,000
	(一般)	65,000	(一般)	39,000	(一般)	50,000
再受講者割引(前 年度当講習会参加 者)	(会員)	45,000	(会員)	25,000	(会員)	33,000
	(一般)	55,000	(一般)	35,000	(一般)	43,000
実施会場	高知県建設会館		高知県建設会館		高知県建設会館	

技士会の

監理技術者講習

CPDS代行申請

講師による対面講習！ ～”現場経験談”が聞ける

申し込みはインターネットからがおトク！

- 12ユニット[㊤]取得できます。さらに試験で会場平均点以上得点した方はさらに3ユニット追加。
これら学習履歴の申請手続きは一切不要です。 ㊤:上限のある形態コードです
但し、4年以内の受講は6ユニットになります。
 - 映像講習ではなく、経験豊かな地元講師による講習です。
 - お得なインターネット申し込み価格は9,570円！手数料のかからないコンビニ支払いが便利です。
- ※郵送でのお申し込みも受け付けます。受講料9,900円(要写真添付・郵便振替でのお支払いとなります。)
(郵送先は 一般社団法人 全国土木施工管理技士会連合会 まで)

令和7年度の監理技術者講習開催予定

開催日	時間	講習会場
令和8年2月5日(木)	9:00～16:30	高知県建設会館4F

令和8年度の監理技術者講習開催予定

開催日	時間	講習会場
令和8年4月2日(木)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和8年7月7日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和8年9月3日(木)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和8年12月3日(木)	9:00～16:30	高知県建設会館4F
令和9年2月16日(火)	9:00～16:30	高知県建設会館4F